



SCANNING + SAMPLING

あぶないピアス伝説

体を傷つけることへの本能的恐怖

by 梶原素月

まっている。話はどうだ。
ある女の口がピアスを替えようとして、いままでしていたのを抜き取ったところ、ピアスの穴から白いヒモ状のものがビョコッと出ているのを発見した。

何だろろう？と思っソレを引つ張ると、ニールニールと續けて出てくる。無った彼女はさらにグイグイと引つ張り続けろという。すると、一閃くらのところでヒモは途切れ、次の瞬間、彼女は片目が見えなくなりました。
白いヒモは目の神経だったのだ。

「ピアスをしている十代の女の口はほとんど知ってる」という証言もあるこの話。原宿で制作局にインタビューしてみたところ、確かに聞いたことがある女の口が多かった。でも、コレって本当にありうる事なんだろうか？

「私のところにも、そういうことを言ってくる人が大勢いらっしや

るんですが……解剖学的には耳突には名前のつくような大きな神経や、血管はありません」

池袋ピアスセンターの形成外科医・喜徳知之先生が笑いながら答えてくれた。

ただ、ピアスを抜いた時に皮膚の一部が裏返って出てきたり、たまたま垢が押し出されることがあるという。

また、伏魔の悪い穴に無理矢理ピアスを押し込んだ痛みで失神した女性の例もあるので、そんなことが結びついて出来た伝説では？というのが高橋先生の推測だ。

ところで、ピアスにはもう一つついて回る伝説がある。

それは「ピアスをするとき運命が変わる」というものだ。

十四歳になるまで穴を開けることを許されなかった早見麗が、ママの許しをもらい、ピアスをしたその日にタレントにスカウトされた話。奇数の穴を開けると関連す

「でも、あれってウソだって友達が言ってたから、今はセンチメンタルじゃない」

中高校生でこったがえす日曜の原宿・竹下通り。ピアス専門店から出てきた十九歳の女の口はこれから穴を開けに行くところだった。

次は道端でクレールをかじっていた制服の女の口たちに聞いてみる。四国から来たという修学旅行の四人組だ。

「あーっ、それ知ってる」

「あたしもっ」

「誰かのお姉さんって聞いたよ」

「ウソッー」

女の口の周りでピアスに関する「都市伝説」がずいぶん前から広

ると母親に勧められて、三つ目のピアスをしたとたんクラリオンガールに選ばれた運動の結。こういってエピソードは口コミや週刊誌を通じ、女の口たちに知れ渡っているし、実際「運命を変えたくて」ピアスする人も多い。

ピアスの穴を開けるくらいは冒險で、幸せが降ってきたらいいけれど……

ラッキーを信じるためには、その側に必ず口をあけている運命の落とし穴も、恐ろしくないとけないのかもしれない。

